

令和3年度

事業報告書



# 令和3年度 事業報告書

## (概況)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の継続的影響や年明け以降新たな変異株の出現により感染が急拡大したことで、健診事業における受診控えの解消に如何に取り組むかが大きな課題となった。

県内の半数を超える市町村はキャンサーズキャン社と連携し、健診実施の2週間前にタイミングを合わせたダイレクトメールを発信するなど効果的な受診勧奨を行い、さらには健診方法を巡回健診単独実施から施設健診との併用へ切り替えるなど、受診機会の多様化による受診率向上に努めた。

なお、当協会としても健診会場の感染対策の徹底はもとより、健康被害のリスク増加懸念などについてメディア等で啓発することで受診控えの払拭にも努めた。また、受診者数が令和元年度水準まで回復していない市町村に対しては、未受診者や新規受診者の受診機会を確保するために追加健診実施を積極的に働き掛けた結果、2市10町3村で追加健(検)診等が実施されたことも奏功し、全ての検診項目で令和2年度と比較し回復傾向が見られた。

また、3密回避の効果も含めて取り組んでいる電話による健診予約制は、16市町村において導入され、受診者数を正確に把握することで待ち時間が少なく混雑しない受診環境を整えることが可能となり受診者からは大変好評であった。一方、電話回線数の不足から予約のとれない状況がみられた市町村では、Webによる予約システムの導入についても積極的に検討が行われている。

推定食塩摂取量検査は、減塩対策事業としての評価がしやすいこともあり実施件数は年々増加傾向にあり、令和元年度と比較し136.6%の増となった。

職域健診における眼底検査の両眼撮影導入については、代謝性疾患の増加に伴う糖尿病性網膜症予防の観点から積極的な渉外活動を行った結果、大規模事業所からの依頼に繋がったほか、ヘモグロビンA1c導入は、厚労省より発出された検査推奨の文書等を活用して渉外を行った結果、福島県職員や教職員を中心に多くの事業所から受託することができた。また、ABCリスク検査について全額受診者の負担で行うカスタマイズ健診を積極的に提案したところ、令和2年度とほぼ同様の受診者数を確保できた。

特定保健指導は、保険者に対して新型コロナウイルス感染症対策としてICTを活用した遠隔面談を積極的に推奨したところ、実施数が当初予定の約1.5倍となった。

なお、総合健診センターでは従来の人間ドック、健康診断業務に加え新型コロナワクチン接種事業を福島市から受託し、接種回数のがのべ2万2千回を超え、公衆衛生の向上に寄与したものと認識している。

## (各種事業の実施状況)

### 1. 健(検)診・検査事業

地域健診の受診者数を令和2年度と比較すると、特定健康診査等は14,038人の増(前年度比118.3%)、胸部エックス線検査は13,506人の増(前年度比117.1%)、喀痰細胞診検査は22人の増(前年度比100.4%)、胃がん検診は5,207人の増(前年度比121.9%)、大腸がん検診は7,945人の増(前年度比112.5%)、乳がん検診は3,110人の増(前年度比119.8%)、子宮がん車輻検診は2,093人の増(前年度比115.1%)、子宮がん施設検診は3,645人の増(前年度比

108.8%)と全ての検診項目で改善した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が殆どみられなかった令和元年度との比較では、特定健康診査等は17,697人の減(元年度比83.7%)、胸部エックス線検査は16,835人の減(元年度比84.6%)、喀痰細胞診検査は638人の減(元年度比88.5%)、胃がん検診は8,013人の減(元年度比78.3%)、大腸がん検診は7,021人の減(元年度比91.1%)と令和元年度水準の約8割から9割程度までしか回復していない中で、乳がん検診は1,232人の増(元年度比107.0%)、子宮がん施設検診は742人の増(元年度比101.7%)など、女性の検診に対する意識の高さが見受けられた。

表1 地域住民における各種健(検)診件数の実績

		令和3年度実績	令和2年度実績	令和元年度実績
		(2年度比)		
		(元年度比)	(元年度比)	
特定健康診査等	市町村国保	57,348件	47,908件	67,399件
		119.7%		
		85.1%	71.1%	
	被扶養者	7,388件	6,350件	9,219件
		116.3%		
		80.1%	68.9%	
	後期高齢	25,409件	22,013件	31,162件
		115.4%		
		81.5%	70.6%	
	その他の健康診査	597件	433件	659件
		137.9%		
		90.6%	65.7%	
結核肺がん検診	胸部エックス線検査	92,482件	78,976件	109,317件
		117.1%		
	84.6%	72.2%		
	喀痰細胞診検査	4,928件	4,906件	5,566件
100.4%				
88.5%	88.1%			
胃がん検診		28,945件	23,738件	36,958件
		121.9%		
		78.3%	64.2%	
大腸がん検診		71,567件	63,622件	78,588件
		112.5%		
		91.1%	81.0%	
乳がん検診		18,845件	15,735件	17,613件
		119.8%		
		107.0%	89.3%	
子宮がん検診	車輦検診	15,942件	13,849件	16,308件
		115.1%		
		97.8%	84.9%	
	施設検診	45,276件	41,631件	44,534件
		108.8%		
	101.7%	93.5%		

推定食塩摂取量測定		42,910 件	33,087 件	31,406 件
		129.7%		
		136.6%	105.4%	
尿中微量アルブミン検査		17,660 件	14,949 件	20,114 件
		118.1%		
		87.8%	74.3%	
眼底検査	片眼撮影	2,656 件	3,327 件	5,330 件
		79.8%		
		49.8%	62.4%	
	両眼撮影	73,858 件	62,134 件	80,074 件
		118.9%		
		92.2%	77.6%	
	計	76,514 件	65,461 件	85,404 件
		116.9%		
		89.6%	76.6%	

## 2. 総合健診センター事業

被扶養者等の福島市市民検診では、受入日数を約 20 日増加させたほか、市政だよりで広報を行ったことが奏功し 604 人の増(前年度比 110.6%)となった。

二次精検は、胃内視鏡検査におけるピロリ菌除菌の医師オーダーが増加し、保険診療が増加したことにより 254 人の増(前年度比 139.4%)となった。

一方、人間ドックは 1 日当たりの受入人数を増やし市町村国保への渉外を強化したが、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響で 121 人減(前年度比 96.4%)となった。

予防接種は、公立大学法人福島県立医科大学学生及び 4 月に開設された同保健科学部学生の B 型肝炎ワクチン接種事業を受託できたことで 833 人の増(前年度比 141.2%)となったほか、新規事業としての新型コロナワクチン接種回数が延べ 22,706 回となった。

表 2 総合健診センターの各種事業件数の実績

	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
	(2 年度比)		
	(元年度比)	(元年度比)	
健康診断	6,319 件	5,715 件	5,901 件
	110.6%		
	107.1%	96.8%	
二次精検	899 件	645 件	576 件
	139.4%		
	156.1%	112.0%	
人間ドック	3,207 件	3,328 件	3,477 件
	96.4%		
	92.2%	95.7%	
予防接種等	2,853 件	2,020 件	2,354 件
	141.2%		
	121.2%	85.8%	
予防接種(コロナワクチン接種)	22,706 件	—	—

### 3. 理化学分析事業

水質検査は、市町村からの河川調査の受託減や事業所からの水質検査依頼数が減少したため、143 件の減(前年度比 98.3%)となった。

大気測定は、39 件の減(前年度比 90.8%)となった。

食品検査は、新型コロナウイルス感染症の拡大により食品営業を中止した事業所等の影響で依頼件数が減少し、457 件の減(前年度比 94.3%)となった。

環境調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により乳業事業者からの放射性物質測定依頼が減少したが、学校の通常授業開始により給食検体検査数が増加したことにより 3 件の増(前年同 比 100.1%)となった。

厚生労働省、環境省からの水質基準、水質汚濁に関する環境基準等の見直しの通達を受け、追加検査項目となった PFOS(有機フッ素化合物ペルフルオロオクタンスルホン酸)及び PFOA(ペルフルオロオクタン酸)検査は、新たに郡山市から 4 件を受託した。

作業環境測定は、令和 3 年度からの規則改正に伴い溶接ヒューム測定が追加されたことを受け、従来の顧客に加え電話による積極的な渉外活動を行ったことで 52 件の増(前年度比 125.1%)となった。

表 3 理化学分析の各種事業件数の実績

		令和 3 年度実績	令和 2 年度実績	令和元年度実績
		(2 年度比)		
		(元年度比)	(元年度比)	
水質検査		8,645 件	8,797 件	9,080 件
		98.3%		
		95.2%	96.9%	
大気測定		386 件	425 件	542 件
		90.8%		
		71.2%	78.4%	
食品検査		7,568 件	8,025 件	8,517 件
		94.3%		
		88.9%	94.2%	
環境調査(放射能測定等)		3,569 件	3,566 件	3,766 件
		100.1%		
		94.8%	94.7%	
環境衛生	簡易専用水道施設検査	1,325 件	1,385 件	1,497 件
		95.7%		
		88.5%	92.5%	
	その他の検査	3,061 件	3,175 件	3,741 件
		96.4%		
		81.8%	84.9%	
作業環境測定		259 件	207 件	202 件
		125.1%		
		128.2%	102.5%	

#### 4. 普及啓発事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案し、例年行ってきた当協会主催の健康集会については混雑を回避するために実施を見合わせる一方で、健診予約制導入による健診会場での3密回避策やスタッフ・機材の最適配置等による待ち時間解消策などについて新聞広報を活用した啓発活動を行い、未受診者への勧奨や新規受診者増加などの受診率向上に努めた。

#### 5. がん基金事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案し、各種団体が開催するイベントへの協力や予防啓発教材を活用したがん予防等の啓発活動については実施を見合わせることにし、代わりに9月のがん征圧月間期間中の新聞広報に加え、3月には乳がん早期発見のための検診の重要性や乳房を意識する生活習慣の広告掲載など、広報に重点をおいた普及啓発活動を行った。

#### 6. 建物等の継続管理事業

市の公共事業施行に伴い解体・整地を完了した旧第一診療所の跡地(172.10 m<sup>2</sup>)については、隣接する土地所有者に令和4年2月17日付けで売却した。

#### 7. 令和3年度 保健衛生褒賞基金事業

(1) 岩永賞

該当者なし

(2) 楠賞

該当者なし

#### 8. 実績内訳

令和3年度の主な実績は以下のとおり。

##### ① 健(検)診・検査事業

	令和3年度実績 (人/件)	令和2年度実績 (人/件)	増減 (人/件)
(1) 結核検診			
① 学校保健	22,280人	22,434人	△154人
② 地域検診	69,898人	59,054人	10,844人
③ 労働衛生			
◇ 直接撮影・デジタル	18,501人	19,675人	△1,174人
④ 精密検診			
◇ 精密検診	0人	0人	0人
(2) 胃がん検診			
① 地域検診	28,950人	23,738人	5,212人
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	23,426人	24,606人	△1,180人
(3) 子宮がん検診			
① 子宮がん車輻検診			
◇ 地域検診	15,942人	13,849人	2,093人
◇ 労働衛生	2,865人	2,970人	△105人

② 子宮がん施設検診			
◇ 地域検診	45,276 人	41,593 人	3,683 人
◇ 労働衛生	1,958 人	1,858 人	100 人
③ 子宮体がん施設検診	34 人	38 人	△4 人
④ 子宮がん施設精密検診			
◇ 組織診検査	496 人	640 人	△144 人
◇ 細胞診検査	1,232 人	1,424 人	△192 人
(4) 肺がん検診			
① 地域検診			
◇ 肺がん検診(喀痰)	4,978 人	4,906 人	72 人
◇ 肺がん検診(肺野部)(協会けんぽ除く)	69,898 人	78,976 人	△9,078 人
② 労働衛生			
◇ 肺がん検診(喀痰)	1,168 人	1,299 人	△131 人
◇ 肺がん検診(肺野部)	49,476 人	53,724 人	△4,248 人
(5) 乳がん検診			
① 地域検診(いわき市除く)	18,394 人	15,735 人	2,659 人
② 労働衛生	2,920 人	2,972 人	△52 人
(6) 大腸がん検診			
① 地域検診	71,567 人	63,622 人	7,945 人
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	31,883 人	33,275 人	△1,392 人
(7) 特定健康診査			
① 地域検診	64,786 人	54,223 人	10,563 人
② 特定保健指導	1,933 人	2,264 人	△331 人
(8) 骨粗鬆症検診			
① 地域検診	9,900 人	9,879 人	21 人
② 労働衛生	689 人	675 人	14 人
(9) 臨床検査			
① 学校保健			
◇ 寄生虫検査	1,373 件	1,939 件	△566 件
◇ 尿検査	125,124 件	129,248 件	△4,124 件
◇ 心電図検査	67,129 件	67,281 件	△152 件
◇ 血液検査	26,112 件	30,673 件	△4,561 件
◇ その他の検査	18,315 件	17,689 件	626 件
② 地域検診			
◇ 血液検査	150,311 件	134,012 件	16,299 件
PSA 検査	23,911 件	20,452 件	3,459 件
◇ 健康診査	26,010 件	22,477 件	3,533 件
◇ 県民健康調査(健康診査)	26,611 件	24,720 件	1,891 件
◇ その他の検査	133,227 件	101,881 件	31,346 件



③ 労働衛生			
◇ 心電図検査	65,664 件	68,184 件	△2,520 件
◇ 眼底検査	39,628 件	38,895 件	733 件
◇ 尿検査	14,595 件	15,514 件	△919 件
◇ 血液検査	223,564 件	232,199 件	△8,635
◇ 健康診断	76,681 件	77,230 件	△549
◇ 血圧測定	12,818 件	12,997 件	△179
◇ 聴力検査	57,647 件	58,905 件	△1,258 件
◇ その他の検査	165,254 件	140,100 件	25,154 件
④ 特殊検診			
◇ 有機溶剤健診	6,694 件	6,937 件	△243 件
◇ 鉛健康診断	394 件	367 件	27 件
◇ じん肺健康診断	382 件	462 件	△80 件
◇ 騒音健康診断	461 件	390 件	71 件
◇ 情報機器作業健康診断	3,339 件	4,182 件	△843 件
◇ その他の検査	7,120 件	6,228 件	892 件
⑤ 保菌検査	12,030 件	12,953 件	△923 件
⑥ 医療機関からの受託検査			
◇ 一般臨床検査	15 件	397 件	△382
◇ 病理組織検査	1,609 件	1,504 件	105 件
◇ 細胞診検査	23,738 件	26,198 件	△2,460 件
⑦ 母子保健			
◇ 先天性代謝異常検査	12,311 件	13,053 件	△742 件
(10) 口腔健康診査			
① 地域検診	670 件	495 件	175 件
② 労働衛生	20 件	0 件	20 件
(11) 健康づくり事業			
① 健康づくり事業	51 件	55 件	△4 件
② 総合健康管理受託事業	20 件	11 件	9 件

## ② 総合健診センター事業

	令和3年度実績 (件)	令和2年度実績 (件)	増減 (件)
(1) 健康診断	6,319	5,715	604
(2) 二次精検	899	645	254
(3) 人間ドック	3,207	3,328	△121
(4) 予防接種等	2,835	2,020	815
(5) 予防接種 (新型コロナワクチン接種)	22,706	—	—

### ③ 理化学分析事業

	令和3年度実績 (件)	令和2年度実績 (件)	増減 (件)	
(1)水質検査	8,645	8,797	△152	
(2)大気測定	386	425	△39	
(3)食品検査	7,568	8,025	△457	
(4)環境調査(放射能測定等)	3,569	3,566	3	
(5)環境衛生	① 簡易専用水道施設検査	1,325	1,385	△60
	② その他の検査	3,061	3,175	△114
(6)作業環境測定	259	207	52	

### ④ 複十字シール募金

運動期間 令和3年8月1日～令和3年12月31日

募金実績額 2,135,856円 (募金目標額 2,700,000円)

### 9. 胃がん検診に係る損害賠償請求訴訟

過去に総合健診センターの人間ドックで胃がん検診を受けた受診者から検診結果等に関して損害賠償請求訴訟が令和3年12月28日に提起された。医療訴訟専門の弁護士事務所に委任して対応している。

### 10. 行政庁に対する届出のうち重要なもの

#### (1) 役員の選任に及び選定に関する変更の届出

- ・令和3年5月7日、定款第11条第1項の規定により評議員選定委員会において、阿部敏明氏の後任として林昭彦氏が評議員に選任された。
- ・令和3年6月23日、定款第24条第1項の規定により評議員会において、渡邊重勝氏の後任として笹木めぐみ氏が理事に選任された。
- ・令和3年10月12日、定款第24条第1項の規定により評議員会において、須藤英穂氏の後任として遠藤勝利氏が理事に選任された。
- ・令和4年1月31日、定款第24条第1項の規定により評議員会において、藤田長寿氏の後任として鈴木一哉氏が監事に選任された。
- ・令和4年3月8日、定款第24条第1項の規定により評議員会において、新任理事として小倉紀夫氏が選任された。

#### (2) 定期書類の提出

- ・令和3年6月30日、定款第8条第2項の規定に基づく令和2年度事業報告及び決算書類
- ・令和4年3月30日、定款第7条第3項の規定に基づく令和4年度事業計画書及び収支予算書等

### 11. 定款第8条第1項(2)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に基づく事業報告の内容を補足する重要な事項

特になし

## 12. 監査の状況

令和4年5月17日、定款第8条の規定により監事会を開催した。

監査の結果、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認められた。また、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。

さらに、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認められた。

## 13. 各種委員会その他重要な組織の活動状況

### (1) 検診事業精度管理委員会

目的	開催回数	主な内容
各種検診事業の精度の向上に向けてデータの分析・評価	6回	9/15 循環器検診精度管理委員会 9/27 学校保健検診精度管理委員会 10/12 乳がん検診精度管理委員会 10/29 肺がん検診精度管理委員会 11/15 子宮がん検診精度管理委員会 11/18 消化器検診精度管理委員会 ※いずれも Web 開催

### (2) 倫理審査委員会

目的	開催回数	主な内容
協会自らが行う調査研究及び協会の所有する検診データを活用した外部の研究についての倫理的配慮がなされているかを審議	6回	6/28 腹部超音波検査の実施状況と結果について 7/12 乳がん発症のリスク要因を明らかにするための疫学的研究 9/6 子宮頸がん検診における液状化検体細胞診(LBC法)の有用性 9/6 子宮頸部原発悪性黒色腫の1例 11/30 福島県医師会からのがん対策推進委員会及び生活習慣病予防委員会への資料提出について 12/13 胸部 X 線検査で発見された症例画像の提供

## 14. 理事会の決議事項のうち特に重要な事項の経緯

特になし

## 15. その他理事会から報告を求められた事項

特になし

